

# にぎわい通信

新潟市



## 帆船「あこがれ」が新潟西港へ寄港！

5月8日から17日までの10日間、新潟西港に大阪市の帆船「あこがれ」が寄港し、様々なイベントや講座などが開催されました。

同船の寄港は、昨年11月、日本海側の総合的拠点港に選定された新潟港により多くの市民から親しんでもらうおうと、新潟市が企画したものです。

5月8日の入港時には、信濃川左岸の岸壁に地元小学校の生徒をはじめ市民など約200名が集まり、万代太鼓の演奏とともに帆船「あこがれ」を迎えました。



入舟小学校の3、4年生と万代太鼓でお出迎え

翌9、10日に行われた小学生講座と船内見学会には、2日間で延べ約200名の新潟港周辺の小学生が参加しました。

帆船クルーによる楽しい講義のあと実際に帆船に乗って様々な道具に触れることで、子ども達も船員の仕事に興味津々の様子でした。



12日のセイル・トレーニング(体験航海)には、327名の応募者から抽選で選ばれた55人の皆さんが参加しました。

午前中は波浪のため係留した船内でのトレーニングとなりましたが、天候が安定し午後からは沖合に出て展帆も体験できました。船はかなり揺れたようですが、下船された参加者の皆さんが一様に満足そうな顔していたことが印象的でした。

クルーから船や乗員の仕事などを学習

13日は快晴の空のもと、船内の一般公開を行いました。

当日は、新潟市の中心街で開催中のイベント「古町どんどん」とも連携し、中心街と港を結ぶ無料シャトルバスを運行したほか、中心街の特設ステージでは帆船クルーによるミニ講座も行われました。帆船の一般公開では2,305人という大変多くの方から見学いただき、特設ステージでもたくさんの市民がクルーの話に耳を傾けていました。



55人の勇者が参加

10日間の寄港を終えた帆船「あこがれ」は17日、多くの市民に見送られながら新潟港を後にしました。寄港中は延べ5,000人以上の方々から新潟港に足を運んでいただけましたので、総合的拠点港・新潟を十分にアピールできたのではないのでしょうか。

最後に、帆船クルーの皆さんをはじめ、参加・協力いただいた皆さんに心から感謝申し上げます。



見送りにきたたくさんの市民の皆さんと

敦賀市



## 「敦賀・長浜間鉄道開通130周年PRイベント」

今年は、敦賀にとって「敦賀長浜間鉄道開通130周年」、「敦賀ウラジオストク間定期航路開設110周年」、「欧亜国際連絡列車開通100周年」の記念の年に当たり、実行委員会を中心として、様々な催しが企画されています。

平成24年5月6日(日)には、敦賀・長浜間鉄道開通130周年に合わせ、JR敦賀駅構内及び駅前通りにおいて、鉄道と港のまち敦賀のPR事業が開催されました。

当日は、明治から昭和初期のレトロ衣装に身を包んだ市民エキストラが130周年記念ののぼりを掲げ、乗客や通行人に記念イベントチラシを配りました。

また、レトロ浪漫楽団による演奏も盛大に披露され、通り掛かった方々だけでなく、車窓からご覧になった方々にも往時の敦賀の雰囲気を楽しんでいただきました。

このイベントは11月までに計5回開催し、鉄道と港によって繁栄した敦賀の歴史を大いにPRするとともに、敦賀ならではの「おもてなし」による賑わい創出と交流人口増大を図っていきます。

